

医学研究センター

フェローシップ部門

<部門員構成>

部門長	丸山	敬	薬理学
副部門長	森茂	久	総合医療センター血液内科
部門員	別所	正美	血液内科
	斎藤	一之	法医学
	片桐	岳信	ゲノム医学研究センター病態生理部門
	名越	澄子	消化器内科・肝臓内科
	木村	文子	国際医療センター画像診断科
事務部	笠間	忍	大学事務部

別所部門長より丸山部門長、丸山副部門長より森副部門長となった。また、新規部門員として、大学病院と国際医療センターよりそれぞれ1名が選出された。

<活動目的>

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、大学院生や教員以外の研究者、非常勤研究者の経済的・身分的支援を目的とする。

<業 務>

1. 卒後教育フェローシップ(奨学金を本学から支出)の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記と関連して規定集(専攻生, 協力研究員, 特別協力研究員, 特任研究員)の確認

1. 平成20年度の活動について

庶務課の尽力により、奨学金募集並びに支給はほとんど問題なく遂行されている。今後とも不測の事態には教員と事務部門が協力して対応することを確認した。

平成21年3月の選考も従来の選考基準に基づいて行うことにした。実際の応募者は2名であり、受給忌避条件に抵触することが無いことを確認し、両名とも採用として運営会議に答申することにした。空席が2名生じたために9月に再募集をする。支給期間は10月からの1年間とする。

2. 現状と今後の課題の総括

<日本人研究者の補助について>

本フェローシップは基本的には外国人研究者を対象としている。日本人枠については、外国人4名以上がすべて初めての受給申請の場合は、外国人を優先するが、受給歴のある外国人よりも1人を限度として日本人を選別することとした。日本人の選考は、以下の順で優先することにした。

- (1) 学位取得者、受給開始日までに取得予定者とする。(ポストドクを想定)

- (2) 大学院最終学年在籍者を優先する。(学振のDC2を想定)
- (3) 本学の無給常勤研究員，大学院生，研究生.
- (4) 同じ条件の場合は年長者を優先する。(社会的必要性を考慮)

上記に基づいて，21年度9月の選考を行う予定である.

<非常勤研究者の総合的支援について>

全学的な問題であり，種々の状況を勘案しつつ，慎重に検討する.

(文責 丸山)